

「ふたなり女神官の勇者を墮落させるおねショタ快樂漬け前立腺調教」

scenario：ハシダ シュンスケ

|||||

1. ようこそ神殿にいらつしやいました、勇者様。：なぐんて、おねえちゃんのこと忘れちゃった？

|||||

輝かしき武具に手の甲の聖印。

栄光導く正義のつるぎ。

嗚呼、勇者様、ようこそいらつしやいました。

わたくしは、この神殿の神官の「ツカサ」と申します。

ここは靈峰の頂、人の世の境たる宵闇の森を望む「絶えぬ頂きの神殿」。

この神殿から先、丘を越えて森へと入ればそこは真なる魔境に他なりません。

幾多の英傑が森を越えようと挑み、敗れて、永遠の苦難を今も受け続けてきた。彼の森を越える唯一の方法は、聖印を受けた勇者のみが受けられる神の加護のみ。

聖印の勇者よ、あなたには加護を受ける「覚悟」はありますか？

くすっ……どうしたの？

ぼくくん、おねえちゃんがいて、驚いちゃったの？

ぼくくんが、勇者になったみたいだね。

幼馴染のおねえちゃんも「神官」になったんだ。

だから、神に仕える者として、勇者様にはちゃんとご挨拶しないとイケないの。

ね、だから、そんな急に泣きそうな顔にならないで……

おねえちゃん、困っちゃう。

うん、うん……だいじょーぶ。

ぼくくんが心配しなくても、おねえちゃんは昔のままの「おねえちゃん」です。

でも……ねえ、ぼくくん——おねえちゃんに聴かせてほしいんだけど……

ぼくくんが、おねえちゃんに会いに来るのって、ホントはもっと後なハズだったよね？

ぼくくん、まだ大人じゃないのに……どうして、勇者の格好をしているの？

ね……お姉ちゃんに何があったのか、聴かせてくれない？

うん、うん……うん、そっか。

魔王が攻めてきたせいで、みんなの村、なくなっちゃったんだ。

村が燃えて、みんないなくなって……

おじさんとお婆さんがぼくくんを守ってくれたんだね。

だから、勇者として魔王に「復讐」しないとイケないなんて……

うう……ぼくくん。

なんて、かわいそう……。

寂しかったよね……苦しかったよね……

でももう、だいじょーぶ、だよ。

ぼくくんには、おねえちゃんがいるよ……

いなくなっちゃったみんなのこと、おねえちゃんも覚えておいてあげるからね……

そうだ……ね、ぼくくん。

今日は、昔ぼくくんが好きだった……お芋のシチュー、作ってあげる。

おねえちゃん、お婆さんに作り方教えてもらったから、ぼくくんのために作ってあげられるよ。

そのあとは……ね、今日だけでもいいから、一緒に寝ない？

おねえちゃんね、ぼくくんがおねえちゃんに会うために、今日までどれだけ頑張ったのか聞きたいな……

え……ダメ？

なんで？ どうして？

もしも、ぼくくんが魔王と早く戦いたいからっていうなら——ダメ、だよ？

どうしてって、神の祝福は「無敵」の力。

人間が宵闇の森を抜けるには、絶対に必要なんだけど……

神の力を一度に受け止めたら、ぼくくんが勇者でも魂ごと粉々になっちゃうんだよ？

だから、ぼくくんはね。

この神殿で、神官である「おねえちゃん」から、ゆっくりと時間をかけて加護を受け取らないといけないの。

それに、ぼくくんは知らないと思うけど……

神の祝福は、ぼくくんのお尻の奥にある前立腺に直接触れて——神様の愛を受け入れるもの。

ぼくくんは、勇者として神様の力に愛される覚悟はできてる？

どうかな……？

ふふ、ぼくくん……すごい悩んでる。

なあに……？

おねえちゃんに聞きたいことがあるなら何でも聞いて！！

え、そんなことして、痛くないの……って——

もちろん、痛くなんてないよ！？

神様から愛を受け取るのは、エッチで……すごい気持ちいいんだよ？

どうしたのぼくくん……？

もしかして、おばさんも、村の人たちも……

ぼくくんに、エッチなこと、なにもおしえてくれなかったの？

だったら、おねえちゃん……ぼくくんの力になれるとおもうな。

ね、ぼくくん、知ってるでしょ？

おねえちゃんはおねえちゃんだけど——ぼくくんと同じ「おちんちん」がついた「ふたなり」さんなの。

だから、ぼくくんの感じる気持ちよさも——今まで我慢してた「わくわく」も、全部教えてあげられるんだよ。

だいじょーぶ、何も心配なくていいの。
ぼくくんは、ちゃんと加護を受け取れるよ。

だから、今日は、今日だけは一緒に――

ぼくくんが好きだったシチュー食べて、おねえちゃんと一緒のベッドで寝て
今日だけは、悲しいことも、辛いことも全部忘れちゃおうね……

|||||

2. 初めての前立腺への刺激と快楽にやみつきになっちゃおうね…♪

|||||

どうしたの？ ぼくくん。

おねえちゃん相手にそんなにかしこまるなんて
なにか言いにくいことでもあった？

うん、うん……そっか……

ぼくくんは、神の祝福を受けることに決めたんだね。

はぁー、ぼくくん。えらいえらい……
頭、撫でてあげる。

よしよしよし……よしよしよし……

ついでおねえちゃん、ぎゅーもサービスしちゃうね……

はぁ……ぎゅーっ……ぼくくんえらい……♥

魔王を倒すために、皆のために頑張ることにしたんだね……

ぼくくんは、ホントに偉いよ。

勇者かどうかなんて、関係ない。

ぼくくんは本物の勇気を持っているんだもんね……

でも、ぼくくんの、お顔真っ赤……

おねえちゃんのおっぱいに、おかおぎゅーってされて、そんなにドキドキしちゃったんだ。
ね、ぼくくんが、これからすること……全部初めてだと思うけど……

ぼくくんは安心して、おねえちゃんのいうこと、よくきいてね……♥

それじゃあ、ぼくくん。

お洋服、脱いじゃおつか。

ふふ、なあに？

恥ずかしいの？

だいじょーぶ、だってぼくくん勇者でしょ？

おねえちゃんに裸を見られるくらい、恥ずかしいよね？
それに、おねえちゃんも……お洋服ぬいじやうもーん。

ほーら、ぼくくん……おねえちゃんのたゆたゆおっぱい。
見たいなら、もっとじっくり見ていいんだよ？

恥ずかしいがらないで、正直になって——おっぱいも、おしりも。

ぼくくんのよりずっとおっきな——

おねえちゃん自慢の「おちんぼ」も……

神様のお願いで、触らせてあげられない「おまんこ」だって……

ぼくくんが見たいなら、いくらでも見せてあげる……

ん？ どうしたの……？

ぼくくん、もしかして……おまんこ、しらないの？

そっか……そっか……

そういうエッチなことは、勇者には必要ないからって、教えてもらえなかったんだ……
んーん……いいよ、いい機会だから、おねえちゃんが……ぼくくんが知りたいこと全部お
しえてあげる。

赤ちゃんの作り方も、おちんちんで遊ぶ方法も、女の人と気持ちよくなるエッチの仕方
も……

ぜんぶ、ぜんぶ、ぜーんぶ教えてあげる……

くす、ぼくくん……どうしたの？

そんなにお顔真っ赤にして——もしかして、ドキドキしちゃった？

おねえちゃんのエッチな言葉で興奮しちゃったんだ……

そうだよね、ぼくくんも、そーいのが気になるお年頃だもんね……

今まで勇者として我慢ばかり——おちんちんのムズムズも我慢してきたんだよね……

じゃあ、ぼくくん……キスは知ってる？

お互いが「すぎ」なんだって、言葉にしくなくても伝わる挨拶なの。

ちゅっ……♡

ふふ……ぼくん。

ぼくくん、おねえちゃんの「すき」は伝わった？

じゃあ、ぼくんからも……

おねえちゃんに……もっと好きって伝えて……？

ちゅっ……ちゅっ……♡

ふふっ、ちゅっ……♡

いいよ、ぼくん。

おねえちゃんと、もっと——沢山キスしよ？

ちゅっ……ちゅっ……ちゅっ……♡

ぼくん……どう？

おねえちゃんとするキスは、好きになれそう？

実はね、今みたいに——唇と唇を合わせるだけが、キスじゃないの……♪
ほら、ぼくん……おくちをあけて……♡

えあーっ……♡ ちゅっ……ちゅるっ、ちゅっ……じゅるっ♡

んちゅっ♡ じゅるるる♡ んちゅっ♡ じゅるっ♡ んじゅる……♡

ふふっ……ぼくん……♡ もっと、おねえちゃんの唾、飲んで……♡

むらむらで、頭の中、一杯にしながら——もっと、かっこよく舌、からめて……ね♡

んっ♡ んちゅっ♡ じゅるるっ♡ じゅぶっ♡ れるっ♡ れおっ♡

んちゅっ……じゅるるっ♡ ずっれるっれろ……れるっ♡

ちゅっ……ちゅるるっ♡ んっじゅるるるっ♡ んふふっ……♡

もっと……♡ もっとキスしよ……？

もっともっと、おねえちゃんのこと好きになって、頭の中いっぱいにしてね……♡

ちゅっ……ちゅっ……じゅるるっ……♡

んっ♡ れりゅっ♡ れるれるっ♡ ちゅるっ♡ じゅぶっ♡

ぐぶっ♡ れろれろれろっ♡ ちゅーっ♡ じゅるるるっ♡

ちゅるるっ、ちゅっ♡ じゅるるるっ♡ んじゅっ♡ じゅるるっ♡

ちゅーっ♡

ふふ……ぼくくん。

おじさんやおばさんが教えてくれなかったこと——知っちゃったね。
今日から、沢山、おねえちゃんと……楽しもうね。

くす、……でもね、ぼくくん。

おねえちゃん、ぼくくんともっと、もっと……気持ちいいことおしえてあげたいな……♡
ぼくくんだって、もう我慢できないでしょ？

おちんちん……♡

ほら、ぼくくんのおちんちん。おっきく勃起しちゃってる……♡
触ってないのに、ぴくぴく震えてかわいいね……♡

でもね、ぼくくん。

おねえちゃんは、ぼくくんのおちんちんさんには、構ってあげられないの……♡
ごめんね……ええ、どうしてか、しりたいの……？

ふふ、それはね、こーこ……ぼくくんのお尻のあゝな。

神様の愛を受け入れるための場所、「おしりまんこ」を「開発」しないとイケないんだ
もの……♡

うふふ、どうしたの？

ぼくくん……ドキドキ、止まらない？

これ以上、気持ちいいことがどういふことか気になって、おちんちん……ぴくぴく震えち
やってる。

いいよ、ぼくくん……エッチな気持ち止まらないんだ——

頭の中むらむらで一杯になって、ダメって言われてきたこと気になっちゃってるんだね

……♡

ちゅっ……だいじょーぶ、ぼくくんが知らないだけで、おちんちんも、おしりまんこもお

……

大人なら——気持ちよくなって当然の場所なの。

だからぼくくん。

今日は、大人専用のイケナイな遊び、沢山、覚えちゃおうね……♡

ほら、おねえちゃんの魔法で——

エッチのための聖水を出して指を濡らしたからあ

ぼくくんのどこを触っても汚くもないし痛くもないよ……

ほら、ぼくくん……おねえちゃんにもっとぎゅーっとしながら、力むようにしてお尻の力を抜きなさい？

ふふ、上手だね……♡

それに、エッチな表情……♡

もう、ぼくくんは気持ちいいのが我慢できない変態さんなんだね……♡

いいよ、変態のぼくくんのこと、おねえちゃんが可愛がってあげる……♡

ほら、つぶっ……つぶって、ぼくくんのお尻に指が入っちゃう……♡

いけないんだ……でももう、我慢できない、ドキドキが止まらない……♡

ね、気持ちいい？ 入らないはずの場所を、指で撫でられて——♡

気持ちいいね、頭、沸騰しそうだね……♡

おねえちゃんに抱きしめられながら、指でお尻の穴広げられて、開発されてるね……♡

このままじゃ、ぼくくんのお尻の穴は、「おまんこ」になっちゃうね。

おばさんにもついてる、おちんちん気持ちよくするための「ハメ穴」になっちゃうね。

恥ずかしい……けど、気持ちいいね……♡

おまんこを弄られると、気持ちいいっておぼえちゃうね♡

指で粘膜擦られて、広げられて、嫌でも声が漏れちゃうのは——

おちんちん触ると気持ちいいのも一緒なんだよ……

ほら、ぼくくん。

おねえちゃんの指に合わせて、おちんちんさわっちゃおうか……

自分のおてで、勃起して、大きくなったおちんちんをぎゅって、にぎって

上下にゆつくりと……しこ、しこ、しこ、しこ……動かして

ほーら、しこ、しこ、しこ、しこ、竿を握って動かすと、き、も、ち、い、い♡

ね、声、我慢なんてしたらだめだよ。

気持ちよかったら——沢山声に出しておねえちゃんに教えてね。

その方が、おねえちゃんも興奮しちゃう——もっとエッチなことしたくなっちゃう。

それに、声に出せば出すほど、ぼくくんは、もっと気持ちよくなりたくなる。

あん、あん、ぼくくん、気持ちいいね……♡

ほら、ぼくくんのおしりまんこが、おねえちゃんの指を深く吞み込んで離さないよ。

もう、おねえちゃんの指を、二本も加えちゃうなんて……

ぼくくんのおまんこさん、とっても甘えん坊で、エッチな変態まんこなんだね……♡

撫でられるたびにくちゅくちゅって声だして――

しこしこに夢中で喘いでる、ぼくくんと同じくらいエッチがだういすき。

あんあんあんあん、初めてのおまんこいじり気持ちよくて……我慢できなういって
きゅんきゅん疼いてお尻全体でおねだりする、ほんと淫乱マゾの素質があるね……♡

くす、マゾって何かって――ふふ、秘密……♡

教えてあげなうい♡

でも、いいんだよ――ぼくくん。

我慢なんて、できないでしょ？

遠慮しないで声出して、目一杯シコりなさい。

ほら、しこ、しこ、しこ、しこ……

おぼえたてオナニーで、快感を感じなさい。

だいじょーぶ、我慢なんてしなくていいから

おねえちゃんが、ぼくくんのこと……

ちゃんと、いくまで見ててあげるからね。

くす、ああ……ごめんね。

ぼくくんはいくつてなにか分からないよね……♡

今、おねえちゃんがぼくくんの「おまんこ」から、お腹をとんとんしてるの、わかる？
いまね……おねえちゃんは、ぼくくんの体に神様の祝福を、愛を送ってるところなの♡
ね、神様も、ぼくくんが気持ちよくなるとこ見てくれるよ……♡

変態マゾのぼくくんが、おねえちゃんに「おしりまんこ」いじめられながら……

神様の愛でアヘアへしながらも、気持ちよくなるために必死でおちんちん抜いてるの許
して、愛してくれてるの。

うれしいね……神様の愛を受け入れ続けると、ぼくくんは生きてるのに天国にイけるん
だよ……♡

ね、それがいくってことなの。

だから、エッチなこととして、いくことって、とってもいい事なの♥

大人はみーんな、偉い人も貧しい人も、エッチなこととしていくことは許されてるの。だからこの気持ちよさは、神様がくれる愛なんだから……

遠慮なく、恥ずかしさを受け入れて、気持ちよくなっていいからね。

くす、ぼくん……初めてのおちんちん弄り楽しいね♥

マゾ面晒しながらのシコシコ、もうとめられないね。

おちんちん気持ちいいね——お腹トントンされるたびに、金玉キュンキュンして……♥
精子せり上がってる、初めてザーメンあがって、イきそうになってる。

ねえ、ぼくん……♥

おねえちゃんは戒律でぼくんのおちんちん。

おまんこで受け止めてあげられないけど——♥

このままおねえちゃんにぎゅーっとしたまま、初めてのお射精、させてあげる♥

ほら、おしりまんこぐちゅぐちゅされながら……♥

おててでおちんちんもつと扱いて——♥

生まれて初めての射精、精通もらし……♥

おねえちゃんのおっぱいと、おなかにかけて……♥

くす……おねえちゃん、ぼくんがイけるように……♥

もつとぎゅーってしてあげる……♥

そうだ……こうやって、ちゅっ……♥

ぼくくとキスしながら、両手の指でお尻の穴弄ってあげたら——

もつと、エッチな気持ちになれるかなあ……♥

(*SE:キス音に合わせて、指のぐちゅ音激しく)

ちゅっ……♥　ちゅっ……♥

どう？　ぼくん……♥

おねえちゃんにキスされながら——

おまんこぐちゅぐちゅされながら——♥

ちゅっ♥　じゅちゅるるるっ……♥

ぢゅちゅっ♡
ちゅるるるるるっ♡

ぼくくんのおくち、ペロキスで犯されたら、おちんちん、もつと気持ちよくなつちゃうかなあ♡

らめえ？　だめじゃないのよ。だってこれも加護を得るためには必要なことだもん。ぼくくんが勇者なら、きっとキスだけでイける——マゾになれるよ……♡

ほら、ぼくくん……おねえちゃんに舌と「おしりまんこ」、差し出さない……♡

ぢゅぢゅつ、ぢゅぢゅるるるるつ♡
はあ〜〜つ♡

ぢゅるっ♡
じゅろっ♡
ぢゅっ♡
ぶちゅっ……♡

ぢゅぶっ ♡
んっ ♡
じゅるるっ ♡
れろれろれろっ ♡
ちゅっ ♡

じゅれりゅっ♡
じゅぶぶ♡
じゅるるるっ♡

ちゅーっ♡
ちゅるっ♡
ちゅっ♡
んっ♡

ふうふうくすつ♡
もうだめ？

イク？　いつちやいそう？

「おまんこ」震えて腰、
がくがくしてきたね……♡

マゾイキ、もう我慢できないね……♡

いいよ、おねえちゃん、10数えてあげるから……♡

そしたら、白いおしっこ、せーし、ザーメン♡

びゅるびゅる、びゅびゅ〜と、出していいからね——♡

10、ぼくくんが最高の初めてを迎えられるようにお姉ちゃんも頑張るね。

9、今日は色々な気持ちいいこと知れてよかったね。

8、最後に、今日一番気持ちいいの覚えちやおうね。

7、村のみんなが教えてくれなかった、いくこと覚えたら……♡

6、神の祝福も、もっともっと受け入れられるようになるよ……♡

ほら、もう我慢しないでいいよ。

5、
4、
3、
2、
1。

いいよ、イって……イきなさい、イけ♡

0、イけ……イけ……
♥

まんこで快感受け止めながら、初めてのザーメン、びゅーってしちゃえ……♡

はーい、とく、とく、とくん……♡

ケツマンコ責められてるおかげでなっさけない、とろとろおもらし、かわいいね♡

ぼくん……♡

初めての射精、精通、おめでとう♡

これで大人の仲間入りだね……♡

これから、毎日——沢山気持ちよくなって♡

神様の愛を受け取れる、一人前の勇者になれるように頑張ってイこうね……♡

[illegible]

3. 聖なるエネマグラを装備して前立腺でメスイキする勇者のぼくくんかっこ

い
ゝ
い
♪

||
||
||
||
||
||
||
||
||
||
||
||
||

あ、
ぼくくん。

そんなにそわそわして——おねえちゃんに、なにかお願いでもあるの？

ん、なあに？

前から言ってるでしょ？

お願いごとは、ちゃんとと言わないと伝わらないよ？

ふふ……でもおねえちゃん、分かっちゃった。

今夜のご飯も、ぼくくんが大好きなお芋のシチューがいいんでしょ？

ちがうの？　じゃあ……なにがお願いなのかなあ……

もしかして、もったい로운気持ちいい事、教えてほしいとか？

ふふ、ぼくくん熱心だね……えらいえらい……

んー、でも、おねえちゃんもわかるよ。

「ぼくくんは、早く神様からの加護を得て——魔王を倒しに行きたいんだよね？」

おねえちゃんは、ぼくくんに意地悪なんてしないから。

勿論、協力してあげる。

だから、お洋服を脱いで、おねえちゃんのベッドの上で寝転んで待っててね。

ぽくくん。

ふふ、
ぽくくん……

おねえちゃんの言いつけ、ちゃんと守れて偉いね……

裸でおねえちゃんが来るの……待ててえらいえらい……

おねえちゃんにナデナデされて、ぼくくん……ドキドキしちゃってるね。
おちんちん勃起して、腰がびくびく……「おしりまんこ」の気持ちよさ思い出しちゃって
る。

ね、ぼくくんは——おねえちゃんに触ってほしくてたまらないんだ……
わかるよ……おねえちゃんも、ぼくくんのこと甘やかしたくてたまらないもの。
大好きなぼくくんが、幸せな顔して「マゾイキ」するところ、もっとよく見たいの……

くす、ぼくくん……もう我慢できないって表情……かわいい。
おねえちゃん、きゅんってしちゃうな……

だったら、もう遠慮はいらないよね。

大人として気持ちよくなることが、どういうことか知ったぼくくん……

「おしりまんこ」で感じることを覚えたぼくくに……

神の加護がどういうものか、教えてあげないとだね。

さ、よく見て——これはね、聖なるエネマグラっていうの。

神殿に伝わる、神の加護を感じるための装備。

まるで、小さなころにご本で読んだイルカさんみたいな形でしょう？

さ……ぼくくん。

今から、ぼくくんは、エネマグラを装備しないといけないんだ。

そう、装備なんだから、身につけないと意味ないの。

どこに装備するかは……もうわかるでしょ？

ぼくくんの「おしりまんこ」から、男の人がイクための場所。

前立腺に、道具を直接当てて——ぼくくに直接、神様の愛をプレゼントしてあげるね。

くす、ぼくくん……震えちゃってる。

怖い？ それとも——そんなにドキドキしてるってことは、楽しみなのかなあ？

いいんだよ……ぼくくん、知ってるもんね。

おしりまんこでマゾイキすると、気持ちいいって知ってるもんね。

さ、今日は特別におねえちゃんが、入れてあげるから……ほら、おしりの力を抜きなさい

……

大丈夫、ぼくくんが、気持ちよくなれば、気持ちよくなるほど——

エネマグラが、ぼくくんをイかせて、マゾから戻れなくしてくれるからね……。

ほら、エッチなおもちやが、おしりまんこに「つぷっ」て入っちゃう……

おねえちゃんの指じゃない玩具が、ぼくくんのこと犯しちゃうよ……♡

どう？　ぼくくん……お尻に玩具が入ってくる気分は……♡

まだ、わからない？

それとも、じんわり——びくびく、普段とは違う感覚？

ねそのまま落ち着いて、ドキドキをうけ入れて——

おしりまんこで感じる姿、おねえちゃんにみせて……？

大丈夫、おねえちゃんが協力してあげる。

ぼくくんがもっと恥ずかしく、正直になれるように——ボクくんをもっとマゾにしてあげる。

ほら、ぼくくん……おねえちゃんにもっと甘えてみよっか……

はーい、ぎゅーっ……♡

むぎゅーっ……ぎゅーっ……♡

ああ……♡

ぼくくん、おねえちゃんに素直に甘えられて偉いね。

おっぱいに押しつぶされて、おねえちゃんの匂い、沢山かいで——おちんちんもびくびくしてる♡

ぼくくん——そのまま、もっとおねえちゃんのこと好きになってみよっか♡

おねえちゃんにぎゅーってされて、リラックスして、おしりまんこ緩ませると——

そしたら、勝手にエネマグラが動いてびくびくしちゃう。

ぼくくんの「おまんこ」でイルカさんが跳ねてるね……前立腺、遠慮なしにとんとんされるの気持ちいいね♡

体から、力抜けて——おちんちんびくびく、勃起してたのに……♡

マゾ快楽で赤ちゃんに戻って——気持ちいいよって主張するの、ほんとにかわいい……

♡

ふふ、どうしたの……ぼくくん♡

おなかに——なにか、当たってる？

そうだよ、ぼくくんがあんまりにかわいいから、おねえちゃんのおちんぽも大きくなっちゃった。

そうだ、今日は、折角エネマグラで感じてるんだから——
駄目押しで、ぼくくんのこと、もっと気持ちよくしてあげたいな。

もっと、ぎゅーつてくつついて、おねえちゃんと、おちんちんをこすり合わせて勝負しようか……。

おねえちゃん、敗けないんだから……

ふふ、こんなこと、したことないでしょ？

ぼくくん、もうドキドキが止まらないね♥

それとも「おしりまんこ」気持ちよくて、始める前に負けを認めちゃう？

だめでしょ——ぼくくん。

いくら気持ちよくても、ぼくくんは勇者なんだから……♥

おちんちんこすりを挑まれたら、立ち向かわなきゃだめなんだよ？

そうでしょ？ だったら、頑張つて、お姉ちゃんにぎゅーつて抱き着いて
パコパコ腰を振らなきゃね……♥

くすつ、ぼくくん……必死になっておちんちんこすりつけちゃってかわいい……♥

おねえちゃんのおちんぽおつきすぎて、ぼくくんのおなかに先っちょついているの……

♥

おしりまんこの奥、たくさんとんざされて——頭の中、マゾ負けしかけてるのに♥
諦めないで——おちんちんこすこす、可愛いね……♥

もお、ぼくくんが可愛すぎて——おねえちゃんも本気になっちゃった♥

そんなマゾ面晒して、襲ってくださいって顔に書かれたらあ……おねえちゃん、容赦なんてできないな〜♥

えいっ♥ えいっ♥

どうだあっ……参ったかあ♥

おちんちんの分際で生意気にエッチなアピールして、抵抗しようなんてイケない子だね
……♥

ね、ぼくくん、勇者になったからって——おねえちゃんのおちんぽに、ぼくくんが勝とうなんて……♥

百年♥ 早いんだからっ♥ んっ♥ いいよお♥ ぼくくん……♥

おねえちゃんも、ぼくくんのこと♡ 玩具にできて、きもちいよ♡

ほら、抵抗なんて意味ないんだから腰を突き出して——おねえちゃんにぼくくんのこと
感じさせて？

ほら、ほらあ……♡ ぼくくんが遠慮するなら、おねえちゃんがっ♡
もっともっとっ♡ 腰を振っちゃうんだからあ♡

くす……♡ どうしたの？ ぼくくん……♡

おねえちゃんが腰振りするたび、おしりまんこの奥に快感が響いちゃってるのかな——

♡

もうお顔トロトロだねえ……♡ おちんちん、勃起したいのに負けを認めてるね♡
なんでだろうね……♡ ぼくくんがエッチ大好きなだけじゃない♡

おねえちゃんに気持ちよくしてもらうの大好きな、マゾオスさんだからかなあ……♡

ふふ、どうしたの？ もう我慢できない？

加護が欲しいの？ イきたいの……わかったよ……ぼくくん。

おねえちゃんが、今からぼくくんの体、沢山気持ちよくしてあげるね♡

ほら、ぼくくん……ベツトの上で、うつぶせになってみよっか♡

できる？ おねえちゃんのおちんちに「おしりまんこ」向けよっか……♡

いいよ……ぼくくん、可愛いね。

ほら、おねえちゃんがぼくくんを後ろから抱えちゃう……♡

ほーら、ぎゅー……♡

ふふおねえちゃんに抱きしめられて、また体がビクビクしてきちゃったね♡

エネマグラ、びくびく震えて——気持ちいい？

いいんだよ、ぼくくんはいくら感じてもいいの。

だって、それが勇者の仕事だもんね……♡

ほら、ぼくくん……♡

もっとマゾになれるように、おねえちゃんが、ぼくくんのおっぱい虐めてあげる……♡

おっぱい、恥ずかしい？ でも駄目だよ。

ぼくくんを抱きしめてる手で、ぼくくんのちいさな、乳首をなでなで——♡

かりかり——さきつぽ、ごーしごし……♡

なあに、駄目じゃないでしょ？

男の子も乳首気持ちいいって感じていいんだよ？

ほら、腰がびくびく震えて、気持ちいいの我慢できないね……♡

いいんだよ、いくらでも気持ちよくなって、マゾらしく喘ぎなさい♡

ぼくくんの乳首虐めれて、エネマグラの力が伝わって気持ちいい。

気持ちいい——気持ちいい——気持ちいい——気持ちいい——

乳首の気持ちよさが、お腹の奥に伝わって、どんどん痙攣が止まらなくなってくる。

勝手におちんちんが震えちゃう、とろとろって我慢汁がこぼれて——ああ、イキそうだね、気持ちいいね♡

ね、ぼくくん……きもちよかったら、いくらでも声を出していいんだよ？

おねえちゃんが、ぼくくんの可愛い懇願マゾイキ声、いくらでも聞いてあげるから。

だから、遠慮したらだめ——だめ——だめ——だめ……♡

あん、あん、おねえちゃんに乳首虐められて、おしりまんこで快樂貪っちゃう♡

気持ちいいことやめられなくなっちゃう♡

おねえちゃんに、レイプされて喜ぶ変態マゾになっちゃう……♡

ああ……かわいい、ぼくくんはほんとにかわいいね……

ねえ、ぼくくん……おねえちゃん、ぼくくんのこと、食べちゃっていい？

ほら、はむ……はむ……

こうやって、お耳をはむはむしてあげると気持ちいいでしょう？

別に汚くないよ……

むしろ汚いところがあるなら、おねえちゃんが、綺麗にしてあげる。

ちゅっ……ちゅっ……♡

こうやって、キスして舐めてあげたら、綺麗になるし——気持ちいいでしょう？

ぼくくん、おねえちゃんとのキスも大好きだもんね。

だから——今日は、ぼくくんがおねえちゃんのこと好きになる様に、お耳にも深くキスしてあげる。

ぼくくんかわいい……

ほら、次はこっちだから、もっと力抜いて——受け入れて——

ぼくくん、びくびく止まらないね。

そっかそっか——ぼくくんは、おみみで感じちゃったんだ……♡

お耳で気持ちよくなったおかげで、もっともつと神様の愛を受け入れちゃったんだ……

♡
じゃあ、おねえちゃんも、もっと遠慮なく——おみみ、舐めてあげる。

あーあ、ぼくくん……♡

もうガックガク、さわってないのにおちんちんからザーメンこぼれちゃって……♡
エネマグラに犯されて、止まらないんだね。

かわいい、かわいいね……♡

ほら、最後にもつとかわいい姿をおねえちゃんに見せて……♡

ほら、舐めてあげるから——イケ♡

イケ——イケ——イキ続けなさい——♡

ふふ、ぼくくん……♡

力抜けて、表情までどろっどろ……♡

でも、よかったね……♡

おしりまんこでイク方法、これでもうわかったでしょう？

今日から毎日、前立腺でイキ続けられれば——

きーっと、ぼくくんは、魔王に勝てる勇者になれるよ。

おねえちゃんもたくさん応援してあげるから、頑張ろうね……ぼくくん♡

なでなで……

|||||

4. 神様の触手で前立腺を直接ちゅーちゅー♪コリコリ♪とんとん♪あゝん気

持ち良いゝん♪

|||||

どうしたの、ぼくくん……今日のエッチの時間、過ぎちゃってるよ？

机の下で縮こまって……魔王を倒す修行、嫌になっちゃったの？

ぎゅーっ、だめだよ——おねえちゃんに隠し事はなし。

修行から逃げて、魔王は倒せないって、本当は分かってるでしょ？

でもね……おねえちゃん、ぼくくんの味方なのもほんとだよ？

ぼくくんが修行を受けれるなら、おねえちゃん、なんだってしてあげるもん♥

ふふ、ぼくくん。

今日はいつもよりも、甘えん坊さんだね……♥

でも、仕方ないよね。

ぼくくんは……もっともっとおばさんたちに甘えたかったのに……♥

魔王のせいで、みんないなくなっちゃったんだもん……

ね、ぼくくん——おねえちゃんに、甘えながらならエッチも頑張れる？

うんうん、じゃあ今日は、特別に——おねえちゃんが、ぼくくんのこと思いっきり甘やかしてあげるね。

だから、頑張ろう——ぼくくん……♥

ちゅっ……ふふ、だから今日はそのまま——そのままぎゅーっとしたまま、目を閉じて。

おねえちゃんに、めいっばい甘えようね……♥

んっ……♥

おねえちゃん、お洋服脱いじやったよ。

ぼくくんの大好きなおねえちゃんのおっぱい、今日は直接ちゅーちゅーっしていいよ？

んっ……ごめんね、ぼくくん……♥

おっぱい、ちゅーちゅー、ごくごくしたいのわかるけど♥

おねえちゃんのおっぱい、まだ吸っても出ないんだ。
でも、甘えるだけなら、いくらでも、甘えていいからね♥

辛くて苦しい気持ち、あかちゃんに戻って——いくらでも忘れていいからね。
ふふ、ぼくくん可愛い……

ホントに可愛い。

そんなに可愛くおねえちゃんに甘えてくれるなら——

おねえちゃんも頑張って、ぼくくんのこと気持ちよく、してあげないといけないよね。

ふふ、おしりに何か当たったのわかる？

これはね「神様の指」、ぼくくんを愛してくれる神様の指先なの。

この指はエネマグラと違ってね。

生きた触手が直接——ぼくくんの前立腺を舐めて、しゃぶって、吸いついて、愛を分けてくれるんだよ……♥

神様の愛を受け入れる気持ちよさを知ったぼくくんならあ。

きつと、狂っちゃうくらい気持ちいいかも——ね。

くす、どうしたの？ こわいの？

おしりまんこ、めちゃめच्याに広げられて、敏感な粘膜ひっかきまわされながら、マゾイキするのが怖いのか？

だいじょーぶ、おねえちゃんが付いてるから。

怖くない、気持ちーよ。

ほら、ぼくくん、こわいならもっとおっぱい、ちゅーちゅーちまちょーね……♥

おねえちゃんは、ここにいますよー、ぼくくんが素直になれるように、マゾあかちゃんに
しちやいますからね。

それに、触手さんはあ……もうぼくくんのエッチな「おまんこ」、見つけちゃいましたからねー♥

もう逃げられない……神様の愛、ぼくくんは「おまんこ」で感じないとだーめ♥

あっ……ぼくくん、触手が、ぼくくんのおちんちんと、おしりまんこにちゅーしちやいますね♥

ほら、ぼくくん、ほら、腰を動かして——挨拶しないとだめでしょ？

腰を、へこへこ。

マゾあかちゃんの誘惑腰振りダンスで、神様にアクメに導いてもらわないと……魔王にはかてないでちゅよ♡

くす、ほら、もつと情けなく……雑魚マゾボディで、へこへこ誘って、自分が無抵抗な獲物だって教えないと……♡

神様も遠慮して、本気エッチしてくれませんか♡

ほら——がんばれ、がんばれ♡

まんこ穴アピールがんばれ♡

気持ちいいのに勝てないマゾあかちゃんの変態アピール、がんばれ♡

あっ♡ ふふっ、ぼくくん……♡

神様、やつとぼくくんにこたえてくれたね♡

おちりまんこ、触手がずるるるってはいって——

でるときはぐりりりって——ケツヒダ擦ってもらえてきもちいいでちゅね……♡

それに、おちんちんさんにも、たくさん触手が絡みついて……♡

ぼくくんのこと、男の子が大好きな方法で、気持ちよくしてくれようとしてまちゅよ……♡

♡

ああ……触手さんが、ぼくくんのおちんちに絡まって♡

竿部分を上下にゴシゴシ、先端のかめさんを包むようにしてたくさんキスしてもらえてまちゅよ♡

ほら、ぼくくん……気持ちよくても逃げたらだめ……♡

折角触手さんが、ぼくくんの腰とおまたにぎっちり絡みついて、奥の奥までずっぽり挿入してくれてるんだから♡

マゾあかちゃんのぼくくんは諦めて、おしりまんこぐちゅぐちゅ犯されて——マゾ穴アクメでイっちゃいましょうね。

ほら、ごちゅごちゅ犯されてえ……♡

ぼくくんのおちんちんも、おしりまんこも喜んでまちゅよ……♡

ね、ぼくくんも——修行のお陰で、神様の愛を受け取れるようになったから——♡
気持ちいいね、生まれて初めての本気エッチが神様相手に良かったね♡

くす、ぼくくんもう、へろへろになっちゃったの……イきそうなの？
喘ぎ過ぎて、おっぱいちゅーちゅーできなくなっちゃった？

おまんこぐりぐりされて、おちんちんいじめられて——♡

ぼくくんの気持ちに関係なく犯されて、愛されて、目一杯気持ちよくなってるんでちゅね。

ほんと、かわいい……♡　かわいいね、ぼくくん……♡

ほら、いつの間にかおしりまんこ犯してる触手に吸盤さんができてるね……♡

神様もハメ穴おとすために、ぼくくんの気持ちいいとこ探すので必死でちゅね……♡

ね、ぼくくん……♡

もし、ぼくくんのおちりまんこの気持ちいいところが、バレちゃったらあ……♡

ぼくくんは、いったいどうなっちゃうのかなあ……♡

マゾ穴、全部触手でされるがままに虐め抜かれて、イクことで頭がいっぱいになっちゃうかも……♡

くす、今よりもっともっと気持ちよくなること、想像しちゃったんだ……♡

おちんちんがびくびく動いて、神様のこと誘っちゃってるよ……♡

あーあ、そんなにかわいい格好で神様を誘っちゃったら——

つぶつ、つぶぷぷって、極細触手が、精子が通るおしっここの穴をずるるって入って
いっちゃう♡

このままじゃ、おちんちんの根本より先に触手さんが届いて、ぼくくんの抵抗できない前
立腺、生ハメしちゃう♡

そんなことされたら、ぼくくんのお腹の中にある、ホントの弱点——どこにあるのかバレ
ちゃうね♡

ふふ、でもその前にもうおちんちんに挿入されたショックでぼくくんのガチイキ止まら
ないかなあ♡

ふふ、ぼくくんがアクメから戻ってこれない変態さんって、神様にバレちゃってまちゅよ
♡

触手さんが、遠慮なしにぼくくんのおまんこズリズリして、モンスターがするみたいにレ
イプしちゃってる……♡

ね、ぼくくん、気持ちいいね♡

入り口から奥まで、前立腺を撫でるようにこすりながら、エッチな吸盤でおしりの粘膜、

ぞりぞり擦られて――

ケツアクメ、とまんないでちゅね♡

あーん、気持ちいいね。

イクイクイクイク、アクメでザーメンどくどくトロテンしちゃう……♡

ほら、ぼくくん、おちんちんからザーメンとくとく、トロテンしちゃってもいいんでちゅよ？

だめ？ むり？

おちんちんから、ザーメンでないの？

くす……そっか、ぼくくんのおちんちん、こんなに激しくハメ犯されてるのに♡

おちんちんの奥、前立腺を直接弄られてるおかげでザーメン、出せないでちゅね……♡

だったら、代わりに……遠慮せずに、メスアクメしようね♡

ざらざらした吸盤でお尻の弱点名一杯吸いつかれながらあ、おちんちんの奥……極細触手で撫でられてえ♡

ドライアクメで頭の中まで真っ白になりましょうね――♡

きゃっ、ぼくくんガクガク震えて――かわいい♡

容赦ないピストンで快感叩き込まれて脳みその中空っぽにされちゃってるでちゅか♡

ほら、いいでちゅよ♡

おねえちゃんに甘えながら、もっともっとマゾになっちゃお……♡

おちりまんこめくれるくらいピストンされながら、全身でマゾアクメ感じちゃいましょうね。

うふふ、だいじょーぶだから、おねえちゃんのおっぱいにだけ集中――♡

だからね、おみみを触手でくちゅくちゅされたくらいで、おどろいちゃだめ。

ね、ね――ぼくくん、今ぼくくんってどういう状態になってるかわかる？

いつのまにか……全身、触手で包まれて、もう逃げられなくなっちゃってるね。

こしのあたりから、わき、せなか、おっぱい、おしり、ふともも、ふくらはぎ♡

あしのさきから、おみみまで、全部が全部、触手に包まれて、ぼくくんのこと犯したいってうごめいてるね……♡

ね、ぼくくんは勇者だから——おねえちゃんに甘えながらなら……♡
全身で神様に愛されるくらい、できまぢゅよね♡

うふふ、逃げるなんて、無理♡

腕をつかまれて、足の先までうごめきながら——

お耳とおっぱい舐められるみたいに触手がうごうご……自由なのは、お口だけ——

ほーら、おねえちゃんがいつしよにいてあげまぢゅよ♡

おっぱいちゅーちゅーしながら、最後はザーメン出しながらイきましょっか♡

ほーら、おちんちんの触手がつぶつぶ真珠みたいに膨らんで……♡

おしりまんこの触手がもっと大きく膨れて、ぼくくんの気持ちいいところ快感で壊そうとしちゃってる♡

触手さんもぼくくん到最后、目一杯アクメしてほしいみたいだよ。

ほら、カウントしてあげるから——気持ちいいの、我慢しないでね♡

10、このまま、ぐちゅぐちゅされたら、ぼくくんどうなっちゃうのかなあ♡

9、神様の加護、もっともっと受け止めて——受け止めて——受け止めようね？

8、だいじょーぶ、こわれても、おねえちゃんが……沢山甘やかしてあげまぢゅからね♡

7、ほら、ぐちゅぐちゅ——ぐちゅぐちゅ、おしりまんこ入り口から奥までなぞられながら——

別の触手が前立腺に吸いついてちゅーちゅ、もみもみ、ぶるぶるふるえてマッサージ♡

6、腰がガクガクしてるのに、快感がせき止められて……ほんと、かわいい……♡

5、さ、ぼくくん遠慮なんてしないでいいでちゅよ♡

4、おちんちんでも気持ちよくなりたいでちゅよね……♡

3、はい、おちんちんの尿道に入ってる触手さん、ずるるるっ♡

あははっ♡ 遠慮なくザーメンこぼれだしてるっ♡

あーん、ぼくくん♡

急にザーメンびゅーってできるようになったからって——おめめ白黒しちゃってるう……♡

ね、もうおちんちんこわれちゃいまちたね……射精とまらないでちゅね♡

触手さんに金玉もみもみされながら、前立腺ぐりぐりされて——♡

ザーメン出てるのに、降りてこれない。

快感が止まらない——♡ 頭の中がもう真っ白♡

全身吸いつかれて、撫でられて、イキ続ける♡

気持ちいい——気持ちいい——気持ちいい——気持ちいい♡

おねえちゃんに、愛されて幸せだね♡

ほら、ぼくくん、神様がもう我慢できないって——全身で暴れてる♡

おねえちゃん、見ててあげるから……♡

ぼくくんの体で感じる最高のアクメ、見せて？

ほら、がんばれ、がんばれ♡

触手レイプされながらの全力アクメがんばれ♡

おねえちゃんに見られながら、おしりまんこの気持ちいいところゴリゴリされながらあ

♡

おちんちんを扱き続けられて、頭の先から足の先まで、犯されて——
感じて——今日一番のアクメで馬鹿になれ♡

あん、もう我慢できない。

おねえちゃんに見られながら、触手さんにレイプされて気持ちいいの止まらない。

お耳もおっぱいもおまたも足の先のおちんちんも前立腺も全部全部きもちいい……♡
我慢できない、イク、イク、イク、イク、イク……♡

うふふ、ぼくくん。

イク、イク……イーけ♡

あーん、ぼくくん……♡

もう前も後ろもわからないくらい、イケたみたいでよかったね♡

ね、ぼくくん……じゃあ、おねえちゃんのおっぱいはわかる？

ふふ、げんきげんき——ぼくくん……あかちゃんできてえらいね……♡

修行、まだ続くけど、頑張れるよね♡

明日もまた、お尻でアクメできるように頑張ろうね——♡

|||||

5. オナホスライムさんですぐにアヘアへする情けないぼくくんに本当の「腰振

り」教えてあげるね♪

|||||

あ、ぼくくん……剣のお稽古久しぶりだね？

ぼくくんはあ、神の加護に甘えようとしない、とっても偉いね。

おねえちゃん、サボりがちだから……尊敬しちゃうな

ん、なあに？

そっか——その剣は、故郷にあった剣をずーっと使ってるんだね。

あはは、じゃあ、それは——思い出の武器なんだね♥

はい……ぎゅーっ。

ぼくくん剣ふるの禁止〜♥

ふふ、なあに？

顔真っ赤にして、おどおどしちゃって……？

おねえちゃんが、ぼくくんのことぎゅーっしたらダメなの？

ぼくくんって、おねえちゃんとのマゾイキエッチ。

最近、とっても頑張ってるよね……♥

おねえちゃん、ぼくくんと一緒に過ごす時間が増えて、うれしいな〜♥

それでね……おねえちゃん、ぼくくんに御褒美上げたいなって思ったの。

もっともーっとな神様の力を受け入れるための、新しい修行法も伝授したいしい……

なあに？

それがどうして、御褒美になるのかって……？

それは初めてからのお楽しみ、だよ……？

それじゃあ、剣のお稽古が一段落したら、今日も“修行”始めようね〜♥

ふふ、ぼくくん……♡

おねえちゃんをお願いした通り、裸で来てくれて嬉しいな。

ぼくくんは、おねえちゃんに裸を見られるの、もう慣れちゃったんだね。

それに、おねえちゃんの裸を見たたん……おちんちんがぴくぴく震えて……♡

ぼくくん、そんなに今日の御褒美が楽しみだったの？

どうしたの？ ぼくくん、違うの？

そっかり、ぼくくんは勇者だもんね。

早く強くなるための、新しい修行の方が、楽しみ……なのかな？

くす、だったらあ……もう早速始めちゃおっか……♡

おねえちゃんとぼくくんの間に机を置くから、おねえちゃんの前に来て？

はい、準備OK……って、どうしたの？

おねえちゃんが、召喚したコレが何か……しりたい？

このまるうい形のスライムは……オナホスライムって言うんだよ？

オナニールスライム、ぼくくんはあ……これをどう使うのか、わかる？

ふふ、わかんない？

じゃあ、こうやって……♡

スライムのくぼんだ所をくばぁって開けたらわかるかなあ？

ふふ、ぼくくんのおちんちん……ちよっとおっきくなったねえ

このスライムは、女の人のおまんこの気持ちよさを再現したスライムなの。

つまり、ぼくくんのおしりまんこと一緒……おちんちんをつぶつぶって奥までハメて……

…

腰振って動物みたいにおちんちんで好きに犯して、ザーメン、無責任にびゅーびゅーする
ための玩具なの……♡

ふふ、聞いただけで、気持ちよさ……想像しちゃった？

今まで、ぼくくんは沢山おしりまんこで神様の神聖な力を受け入れて来たけど……♡

もっともっと、もっと気持ちよくなって愛を受けいれないと、無敵の加護って完成しない
んだよ？

だから、今日からは「おちんちん」でも気持ちよくなる“おけいこ”頑張ろうね♥

ふふ、おちんちんもう我慢できない？

ぼくくんも男の子だねえ……♥

ん、いいよ……♥

ほら、おねえちゃんがくばあって開いててあげるから……

そのまま、腰をぐっと前に出して、はーい、にゅぷぷぷ……っ♥

んーん、どうしたの？

かわいい腰がビクビクしちゃってるよ？

初めて自分から、気持ちいい粘膜を押し広げて、とろとろの襞でぐちゅぐちゅに甘やかされるとお

ぼくくんは、マゾケツも振れない、されるがままのマゾになっちゃうのかなあ……♥

ふふ、どうしたの？

ぼくくん、おこった？

おねえちゃん、ぼくくんのことからかったらダメ？

だったら、ほら、オナホ支えててあげるから腰使って……

おちんちんぽこぼこする練習、頑張ればいいじゃない。

ほら、へこ、へこ、へこ、へこ。

ゆっくりでいいから、腰をへこへこ……いいよ、ぼくくん頑張ってるね。

このオナホスライムに耐えられたら、女の子とエッチしても恥ずかしくならないよ？

だってこのオナホ、おねえちゃんの魔法で操作してるからね……♥

おねえちゃんは自分がエッチだと思ったものを自由に動かせる魔法を知っているのです。だから、このオナホをこうやって――

うごかして。

生きてる人のおまんこ以上に、ぼくくんのこと気持ちよくしてあげられるんだよ♥

ふふ、どうしたの？

気持ちよすぎて、腰が振れないの？

急に吸い付くように玩具のおまんこ動かしちゃったから……♥

感じ過ぎて、動けなくなっちゃったのかなあ♡

ほら、ぼくくんまけないで♡

もっともっと、気持ちいいとこ見つけて……♡

リズムよく腰振りしないと、女の子におちんちんよわわだって、思われちゃうよ……♡

ふふ、ぼくくん……マゾアへしながらオナホに腰振りしてるのに、今にも泣きそうになつてるのほんと可愛い……♡

でもお、だめでしょ……♡

必死におちんちんで、スライムおまんこほじくろうと頑張ってるけど、ばこばこへったすぎ……♡ なさけなあい……♡

ばこばこえっちするときはあ、相手のこと考えて気持ちよくしないとだめだよ♡

ふふ、ぼくくんの情けないおちんちんにい

おねえちゃんが、お手本を見せてあげようかなあ……♡

ぼくくんの腰へこが可愛すぎて、おねえちゃんのおちんぽ、イライラしてきちゃった……

くす、ぼくくんはそのまま、オナホにおちんちん入れたままでいいよ。

ぼくくんは……オナホにおちんちん突っ込んだままあ。

ふすー……ふー……♡

おねえちゃんに、ぎゅーってされて、髪の毛の匂いがらおっぱいに甘えててね……♡

あー、だめ……♡

おねえちゃん、ぼくくんのこと感じて、おちんぽもっともっとイライラしてきちゃう……

ほら、おねえちゃんにもっとぎゅーって、おっぱいに甘えんぽしていいよ……♡

その代わりじゃないんだけど……

ね……おねえちゃん、ぼくくんが可愛すぎて、もうおちんぽ我慢できないから。

おねえちゃんも……このオナホ使わせてくれない、使っていいよね。

ほら、ぼくくんのハメてるオナホの反対側から——おねえちゃんの、おちんぽいれちゃうよ

ぼくくんのちっちゃい「おちんちん」の反対側から、大人のおちんぽが届いちゃう——♡

どうしたの？

おねえちゃんの本気で勃起したおちんぼ見ちゃって……ドキドキした？

そうだよ、おねえちゃん。興奮しちゃった……♡

可愛いぼくくんが頑張って腰振りしてるのを見て——オナホール相手に、本気のガチガチおちんぼに勃起させちゃったの。

くす、いいよ——ぼくくん。

今から、おねえちゃんが、正しい腰の振り方……目の前で見せてあげる。

でも、おねえちゃんのエッチは激しいからあ……♡

ぼくくんがすぐにまねするのはっ♡ 無理かもねっ……♡

んひっ……♡

我ながら、このオナホ、気持ちいい♡

おもちゃの癖に生意気につ♡ ザーメン搾り取ろうとしてくるっ♡

ぼくくんみたいな、初心者ちんちんにはっ♡

ちよっと、荷が重かったかなっ♡

おっ♡ もう駄目ッ♡ 本気の腰振り始まっちゃう♡

どうしたの？

そんな切なそうな顔しないでえ……

もう、ぼくくんがオナホへこへこ情けなかったせいで、おねえちゃんに玩具取られちゃったの悲しい雑魚マゾなのはわかるけど。

おねえちゃんの腰振り、おちんちんごしにもうっと感じて欲しいなあ♡

ん♡ どうしたの？ ぼくくんのへこへこ全然違うのが、ふしぎ？

あーあ、すっごい気持ちいいなあ……おねえちゃんみたいにカッコよくばこばこしないとお♡

オナホだって、気持ちよくしてくれないんだよね？

くす、まあぼくくんはあ——今日がばこばこ初めてじゃ仕方ないよね♡

これから、の努力に期待——できるもんねえ♡

だからぼくくん、これから沢山おちんちんも“おけいこ”して、上手にセックスできるよ

うにお勉強しようねえ……♡

くす、ぼくくんとっても可哀想……♡
ママや村の人が教えてくれてたら、おねえちゃんの前で恥ずかしい目に逢わずに済んだのにっ♡

いひっ♡ でもお……♡

おねえちゃんっ♡ そんなぼくんの姿を見てるだけでえ……っ♡

あ”♡ ほんとキク♡ ザコチンポマゾ相手におちんぼでマウント取るの最高お♡

おチンポびきびき筋はいっちゃうっ♡

最高に勃起したっおちんぼの恐ろしさ見せつけちゃう♡

んっ♡ おっ♡ お”っ♡ お”っ♡ お”っ♡ お”っ♡

腰押し付けるように振って、目一杯オナホの快樂貪るの気持ちいい♡

ほっ♡ ぼくくんにもサービスで♡ 変態声聞かせちゃうっ♡

メスを感じる喘ぎ声出しちゃうっ♡ おんっ♡ 神官なのはしたない腰振りしちゃう

くくく♡

あ”♡ もうっ♡ ぼくくんっ♡ そんなに蕩けたお顔してっ♡

もしかしてっ♡ 自分がパコられるときのこと考えちゃった？

とっても気持ちよさそうなお顔、おねえちゃんのこと、もしかして——誘ってるの？

だめ、だーめ♡

まだだめっ♡ ぼくくんのこと、今すぐ押し倒したいけど、ダメ♡

ぼくくんが望まない一方的な交尾で、イヤイヤ言っても許さないっ♡

マゾケツレイプっ♡ おっ♡ おっ♡ んうくくくっ♡

想像してっ♡ おねえちゃんも元気になっちゃった♡

ダメ、今日のお……ぼくくんはあ、おちんちんで気持ちよくならないといけないからだめ

♡

だめっ♡ おっ♡ だめっ♡ だめっだけど♡

おねえちゃん♡ 妄想レイプで、スライムにザーメン出してイっちゃうう♡

ほら、ぼくくん、みて、みなさい……♡

魔法で玩具マンコの奥に作った、子宮、女の人の子供袋……♡

今からここにおねえちゃんのザーメン沢山注ぐから……あ♡

ぼくくんは、よくみてて……ねえ♡

おらっ♡ あーイク、ぼくくんが見てる前で、ザーメン出してイク……♡

んっ♡ いくっ……♡ おっ♡ おっ♡ おう~~~~~っ♡

出るう……♡ おちんぼから、かっこよくザーメン、どくどくでちゃってるう……♡
ほら、ぼくくん……♡ おねえちゃんの射精の音、ちゃんと聞きなさい……♡

ぶびゅー、びゅー、びゅー……どく、どく、どく、どくっ♡

ザーメン、全然止まらない……♡

玩具の子宮じゃ受けとめきれなくて……♡

オナホスライムが真っ白になるくらい、出ちゃってるね……♡

ふふっ♡ ぼくくんのお腹にこれだけ中出ししたら……

ぼくくんは、どれだけ気持ちよくなっちゃうんだろうねえ♡

男の子でも、勇者様だって、妊娠しちゃうかなあ……♡

あははっ、ぼくくん……メスの顔になってる。

自分が出しされちゃったときのこと想像しちゃったの？

無意識におちんぼ誘うようにお尻振り振りしちゃってるよ……？

ふふ、そっかそっかあ……♪

ぼくくん、エッチな変態マゾなんだ♡

でも、だめだよお……♡

ぼくくんは、腰へこの練習中だもんね。

ほら、おねえちゃんのザーメン、まみれの玩具でへこへこ、頑張ってる……♡

へこ、へこ、へこ、へこ……♡

おちんちん、ぼこぼこぼこ……♡

ふふ、ぼくくん、ぼこぼこがんばってるねえ……♡

おねえちゃんのお手本みて、お勉強できてるねえ
でもやっぱりへたっぴだねえ……♡

童貞らしい、独りよがりななっさけない腰振りオナニー♡

でも、一番問題なのは……おちんちんぴくぴくしてるのに……♡
全然イけそうにないね……♡

くす……ぼくん♡

ちよつと、おねえちゃんがお手伝いしてあげよっか♡

おねえちゃんがぼくくんのこと抱きしめたまま――

初めて射精した時みたいにおしりまんこ虐めててあげる。

ほらっ♡ 腰振りを止めたらだめだよっ♡

おねえちゃんが、指でぼくくんのおしりまんこで遊んでてあげるから……♡
かっこいいお射精頑張って？

ぼくん、腰の奥の前立腺こりこりくっくってしてあげるう♡

んふふ、なにか言いたいのか？ だめ？ だめなの？

おしりまんこ虐めたら何がだめなのお？

ぼくんは頑張っておちんちんへここしないとだめでしょ？

はーい、ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ……♡

おねえちゃんにお尻犯されながら、マゾイキしなさい？

はい、びゅーびゅー、びゅーびゅー、びゅっ……♡

ふふっ、ぼくくんのおちんちん……一応射精できたみたいだね……♡

だめだよお♡ エッチのときに、おしりまんこ弄ってもらえないとザーメン出せません
なんて、恥ずかしいすぎ……なんだからね♡

だから、だからね……ぼくん♡

剣のおけいこもいいけど……おちんちんのお稽古も、今日から頑張ろうね♡

6. 勇者様なのに前立腺とお尻で快樂墮ちしてぜくンぶ台無しにしちゃったね

|| || || || || || || || || || || || || || || || || || || ||

そんなに改まって……

なあに？ おねえちゃん、ぼくくんのこと——騙してる？

ぼくくんこわいよー、おねえちゃんに、剣なんて向けないで？

折角あともうちょつとで、無敵になれる神の加護を全部受け取れるっていうのに……
修行、止めちゃうなんて、勿体ないよ？

だから剣を降ろして、仲直りの、ぎゅー……しよ？
いいでしょ？

おねえちゃんは、ぼくくんの剣なんて……神の加護を受けてるんだから聞きませーん。

そんなにビックリして……勇者のぼくくんがおねえちゃんに敗けるわけない……なんて。ちよつと考えが甘過ぎじゃない？

だから、そんな悲しそうな顔しないで……

ぼくくんこれだけで、おめめとろんってしちゃうもんね……♡

ぼくくんはあ、おねえちゃんに沢山気持ちいいこと教えてもらったもんね♡

それに、毎日たくさんエッチなことしてたから♥

ぼくくん、会ったときよりずっと筋肉も落ちちゃってるし……♥

おねえちゃんに勝てないのも、当然だよね♥

さ、ぼくくん……♥

そんなに怯えなくても、大丈夫。

おねえちゃん、怒ってないよ？

それに言ったでしょ？

ぼくくんが、難しいこと考えちゃうなら、いまよりもっと気持ちいいことしてあげるって……♥

ほら、ぼくくん……ひざまずけ♥

あーん、ぼくくん……可愛い♥

ちよっとおねえちゃんに強く言われただけなのに……おめめうるうるさせちゃって、抵抗できないんだ。

でも、今日はぼくくんが悪いんだよ？

おねえちゃんに剣を向けるなんて、悲しいなあ……♥

それに神様の使徒である神官に逆らうとか、修行も一からやり直しかな♥

でもまずは罰としてえ、ぼくくんは一日、おねえちゃんの玩具コースで〜す♥

とりあえず、おねえちゃんはある……おちんぼを、ぼくくんをむけちゃおっかなあ♥

ふふ、ぼくくん……おねえちゃんのおちんぼ好きすぎて、目が離せないのかなあ♥

ねえ……♥ おねえちゃん、ぼくくんに仲直りの証拠として……♥

おちんぼ、気持ちよくしてもらいたいなあ……♥

どうすればいいかわかんない？

じゃあ、ぺちぺち……♥

ほら、おちんぼで叩かれてるうちに、おねえちゃんのお願ひ、ちゃんと聞こうね？

おねえちゃんがぼくくんにすること、これからは全部許してね♥

何より、おねえちゃんのおちんぼには、絶対に服従すること♥

これから二度と、おねえちゃんに武器を向けるなんてしないように——♥

おねえちゃんのこと、もっともって大好きになれるように頑張ろうね♡

さ、復唱しなさい、変態マゾ？

わかりました、おねえちゃんには逆らいません……♡

おねえちゃんのマゾ玩具になれるように、一生懸命がんばりまーす♡

ほら、わかったー？

くす、偉いぞお……ぼくん。

それじゃあ、まずは……おちんぼにお口でご奉仕してくれるかな？

そうそう、齒を立てないように気を付けて、抵抗なんてしちゃ駄目だからねっ♡

どうしたの？ おねえちゃんのおちんぼとずっと仲良くしたかったんだよね？

まだ喉の奥まで入れただけなのに、駄目な子だなあ……♡

これじゃ、おねえちゃんが動いたらどうなっちゃうのかなあ……♡

んふ、ぼくん……初めてだから、どうしたらいいかわからないね♡

涙と涎で、ぐちゃぐちゃなぼくんも可愛いよ……♡

よしよし、おちんぼに狂えていいこだね……♡

おねえちゃん、おしりまんこに入れるときはちゃんと優しくするからあ、泣かないでね？

んふっ、マゾフェラ御奉仕、上手だよ、ぼくん……♡

おねえちゃんのおちんぼ、ホントに美味しいんだ？

そっかあ、よかったあ……♡

おねえちゃんは、ぼくくんのお口の中は、んーん、ダメダメかな……♡

でも、今日から——「開発」してあげれば……♡

どうにかなるかな♡

このままずっとしゃぶらせてあげたいけど、だーめ……♡

ぺろぺろはまた練習するとして——

ザーメンはぜくんぶ、ぼくくんのお腹の中に出さないと……でしょ？

ほらっ、そんな苦しそうにしてないで……さっさと後ろを向いて腰を上げなさい。
おねえちゃんのおちんぼが、ぼくくんのおしりまんこで暴れたがってるよ？

くす……ぼくくんのおしり……ほぐしてないのに、ゆるゆるだぁ……♡
おねえちゃんと過ごす間に、ぼくくんの「おしりまんこ」は、我慢が苦手でエッチな穴になっちゃったんだね……♡

ほら、ぼくくん……♡ よーく感じて……？

おねえちゃんの魔法で、ぼくくんのお腹の中に沢山ローション入れてあげる……♡

だいじょーぶ、この前の触手さんよりも、おねえちゃんのおちんぼ大きいけどぉ……♡

ぼくくんの「おしりまんこ」のひだひだ、魔法で動かしてあげるから♡

ぼくくんならきつと、マゾ快感感じられるから、安心してね……♡

んっ、ぼくくんの可愛いおしりまんこ♡

ちゃんと、おねえちゃんの為の「おまんこ」になっちゃったね。

だから……んっ……いくよっ、ぼくくん……♡ あっ、ああっ、はいるっ、挿いっちゃ
うっ♡

ぼくくんのおまんこに、おちんぼ挿いっちゃう、あああっ、んっ♡ 亀頭でっ♡ おまん
こ広げてるっ♡

あああ、気持ちい……♡

どう、ぼくくん、初めての生セックス……おねえちゃんに犯してもらう気持ちは？

嬉しいでしょ♡ 気持ちいいの好きだもんね……♡

だいじょーぶ、直ぐに馴染むからぁ……♡

大きく息を吸って——はいて♡

大きく息を吸って——はいて♡

この前の触手より大きくて、気持ちいいね♡

これで動かれたら、どうなっちゃうんだろうね♡

頭の中、気持ちいいので一杯だね♡

沢山修行して、一人前のマゾオスになれてよかったね♡

ん？ もう我慢できない？

じゃあ早速——続き、しょっか♡

ぼくくん、セックスっていうのはハメたら終わりじゃないんだよ。

おねえちゃんが、ぼくくんを装備したなら……つかってあげないと、ねっ。

ふふっ、お願いも、やめても——許して——も聞かないよ

ぼくくんだって、我慢できないでしょ？

さっきから、お尻の奥を押し付けるように腰がへこへこ動いてるし……♡

オナホスライムがハメられてたときから、ずっと犯してほしかったんだもんね……♡

ふふ、やっぱり、ぼくくんは昔のまま。

おねえちゃんのこと大好きで、何もできない弱いマゾ。

体はほんとに正直だよ……おねえちゃんにどうやっても勝てないって、わかってるもんね♡

だから、ぼくくん、隠さなくてもいいんだよ……♡

おねえちゃん、ぼくくんのことなら何でもわかつちゃうんだから……♡

好きにアへって、おしりまんこで暴れるおちんぼに夢中になりなさい……♡

おねえちゃんが、幾等でも気持ちよくしてあげるんだから？

ほら、変態マゾ……パコラれて、情けない声出せ……♡

雑魚喘ぎしながら、おねえちゃんのおちんぼに奉仕しろ……♡

はい、あんあん、あんあん……♡

おねえちゃんに目一杯パコられて嬉しいです。

くすくす、ぼくくん正直になれて偉いね。

素直なぼくくんのこと、おねえちゃん、大好きだよ……♡

じゃあ、お望み通り、もっともっと気持ちよくしてあげる。

今日から毎日、これからずっと、病めるときも健やかるときも——いくらでも♡

ぼくくんの全てをおねえちゃんが支配してあげる。

なあに……どうしたの？

駄目だよお、ぼくくんは、これからずっとおねえちゃんの玩具なの。

それに——前立腺開発されて、今あへあへしてるぼくくんが、魔王になんて勝てるわけないじゃない……♡

あー、おこったあ？

でも駄目……♥ ぼくんはもう逃がさないよ♥

もうぼくんは、おねえちゃんの物なのっ♥

だって最近、もうロクに剣も振れなくなってきたの気づいてる？

ぼくん、おねえちゃんが見てない所でも、ずっとおちんちんしこしこ……♥

前立腺に、玩具を当ててあんあん喘いでるよね……♥

もしかして、まだ……修行すれば、無敵になれるなんて信じてるんだ♥

もお、そんなわけないじゃない。

お尻で気持ちよくなったら、加護がもらえるなんて全部嘘♥

おちんちんで気持ちよくなったら、強くなれるなんて全部嘘♥

全部、ぼくんを戦うのが苦手な弱いマゾにするための嘘だもん。

ねえ、ぼくん知ってる？

マゾ、マゾ、マゾ、マゾ、此処に来た時から、ずーっとおねえちゃん、ぼくんをマゾに
してきたけど。

マゾって、一体が何なのか、教えてあげなかったよね。

ね、ぼくん、マゾって言うのはね。

女の子に恥ずかしいことや、情けないことを強制されて、見せつけて気持ちよくなる。
オス未満のヘンタイのことを言うんだよ。

あーあ、ぼくん。

もうぼくんは——人前でかっこいい勇者になんて戻れない。

アヘアへ感じるだけの変態になっちゃったね。

でもお、もうシコシコもエネマグラもやめられないよね……♥

ぼくんも、おねえちゃんのこと大好きだもんね♥

こんなに気持ちいいことを隠してた、いなくなった人のことなんて……どうでもいいで
しょ？

それに、誰も褒めてくれない勇者になんてならなくても

おねえちゃんがずっと、ずっと、ずーっと一緒に居てあげる♥

だから、ぼくくん……おねえちゃんに負けちゃお？
さ——ぼくくん、舌を出しなさい♡

上向いたままでいいよ？ 仲直りのキス、しましょ？

んちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅるっ♡
ふふ♡ ちゅぽっ♡ じゅるっ♡ れるれろろっ♡
れちゅっ♡ んちゅくっ……ふうっ♡

ぼくくん、ほんと可愛い……もつと、もつとキスしてほしいの？♡
じゅるっ♡ んちゅっ♡ じゅるるるっ♡ んちゅ♡
んふっ♡ じゅるっ♡ じゅぽっ♡ ぢゅぽっ♡ ちゅぽっ♡
じゅぶぶっ♡ ぢゅるるるっ♡ んちゅっ♡ ふっ……♡

キスされながら、パコハメされてもう声止まらなくなっちゃって可愛いね♡
おちんちん、全然勃たなくなっちゃったね♡

抵抗しようとしても、お尻弄られただけで負けちゃうマゾなぼくくん♡

もうパコパコされても、気持ちいいだけしょ？

初めてなのにこんなに感じちゃって……♡

やっぱり、勇者してるより、おねえちゃんに装備されて使われてる方がずっとずっと幸せ
だよね……♡

ほら、ぼくくん一切動かなくていいんだよ♡

腰はおねえちゃんがずっつと振っててあげるし……♡

そうそう、その調子……♡

おねえちゃんの魔法で、おしりまんこももっと感じさせてあげる♡

ぼくくんの「おしりまんこ」

ところどころの粘膜と、ひだで、おちんちんを甘やかすなんて、まるで本物のおまんこみたい
だね……♡

ふふ、どうしたの？

開発され切った「おしりまんこ」の襞に、おちんちんが擦れるのが、そんなに気持ちいいの？
触手さんとエッチしたときとは、比べ物にならない気持ちいいんだ？

おねえちゃん、言ったでしょ？

おねえちゃんは自分がエッチだと思ったものを自由に動かせる魔法を知っているのです。こんなにエッチなぼくくんのこと、おねえちゃんが好き勝手できないわけないよね♥

おねえちゃんが、ぼくくんのこと、好きにできないわけないよね♥

ね、そんなことよりい……♥

ぼくくん、今、ぼくくんのお腹の奥に、ちゃんと……ザーメン受け止める所作ってあげたから……♥

おねえちゃんのガチ中出し、きつと想像できないくらい気持ちいいよ……♥

んっ♥ だからっ♥ ぼくくんは我慢しないで沢山おまんこイキしようね♥

あん、ああんっ、気持ちいい……♥ ぼくくんの中、熱くてとろとろ、おしりまんこ……本物より気持ちいいね♥

ねえ、ぼくくん、気持ちいいでしょ？

こんなに喘いでるんだから、聞かなくても分かるけど……♥

でも、どうせなら、ぼくくんのおくちからあ……

ここまで勇者として育ててくれた村のみんな、お母さんにごめんなさいしながら、おねえちゃんに敗けましたって言ってほしいなあ♥

だめ？ だめじゃないでしょ？

ほら、んっ♥ ずるずるっしておしりまんこの入り口こすりしながら、前立腺虐められて負けてないなんて嘘ついてもダメ……♥

「命がけで守ってくれたのに、魔王を倒すの辞めちゃってごめんなさい♥」

「ぼくは、おねえちゃんと一生白いおちっこちっちして暮らします♥」

「おねえちゃんの前立腺いじめの虜になって、おねえちゃんと幸せな人生を送ります♥」

「だから、村のみんなも、ママも、魔王の討伐も、もうどうでもいいです♥」

「ぼくはおねえちゃんに敗けました♥」

まけました♥ まけました♥ まけました♥

まけました♥ まけました♥ まけました♥

ふふ、ぼくん……♡
ぼくん、可愛いね♡

弱い、情けない——でも、気持ちいい方がいいよね♡

だいじょーぶ、おねえちゃんがぼくんのこと、これからずっと面倒見てあげるからね♡

だから——ほら、情けなく媚びるようにメスイキしなさい？

おしりまんこ犯されて、子宮にザーメン受けとめて……

敗北宣言アクメキメて、イキなさい♡

イケ、イケ、イケ、イ~~~~~け♡

ザコちんぽから、うっすいザーメンお漏らしして、イケ……♡

ふふっ、うっすい……よっわい、変態マゾの子供ザーメン♡

おねえちゃんに敗けちゃった、ぼくんにはお似合いだよ♡

くすっ、ぼくんったらあ、そんなに仰け反るほど気持ちよかったんだあ？

おねえちゃんのおちんぽもお……中イキまんこのところホカホカが気持ちよくて、イケそうだよ♡

ね、ぼくん——おねえちゃんを喜ばせるために、今日からはおけいこしようね。

おねえちゃんのおちんぽ、一杯射精させてね♡

んっ、イク ツ……イクう~~~~っっ！

あはっ、あははは！ おちんぽからびゅくびゅくって出てっ、ぼくんの子宮たぽたぽにしちゃってるう♡

ね、ぼくん♡

おちんぽミルクを一杯中出しされるって気持ちいいねえ……♡

くす……お射精、全然止まらない……♡

これから、ずーっと♡

ぼくんと、おねえちゃん是一緒だよ♡

ずっとずっと、一緒だからね♡